

第3部

大人もいっしょに 3歳児との日々を豊かに

「ばあちゃん、こんどの日曜日、
かおりのこと頼んでもかまわん……？」

子どもは古くから、親の力だけで大きくなってきたわけではなく、社会や地域のかかわりを通じて豊かに成長してきました。

ひとりで「わからない」ことは苦しいけれど、謎解きや探検のように、みんなで「わからない」ことは、苦しさを楽しさに変える力があります。子育てもきっと同じです。3歳児との潤いある日々を味わうために、子育てを「分かち合う」ヒントをまとめてみました。



父親の子育て／祖父母の孫育て

子育ては本来、家族みんなで分かち合うもの。でも実際には、お母さんばかりに負担が集中。
先輩お父さんと祖父母のみなさんからの声を聞いてみました。



祖父母のみなさんへ「子育てアドバイス」のコツ

手助けを頼まれることも多い「孫育て」。子育ての価値観が異なったりして、何かと気遣いすることも多いでしょう。子育ての様子を見ていると、ついひとこと言いたくなるときもある……。そんなときに心がけたいのは、アドバイスは相手への「贈り物」だということです。どんなに素敵な贈り物（正しいアドバイス）であっても、渡し方を誤れば（例えば失敗をとがめるような言い方になりすぎると）、それは相手にうまく届きません。大切な贈り物だからこそ、相手に届くよう丁寧に！が基本。祖父母のみなさんへの信頼感もぐっと高まることと思います。

その1

お父さんから、お父さんへ

お父さん、子育てを楽しんでいますか。一般的には母親に偏りがちな子育てですが、みなさんの家庭ではどうでしょうか。仕事のために、どうしても子どもといっしょにいる時間が少なくなるのは仕方のないことですが、父親の子どもへのかかわり方はいろいろな形があると思います。

たとえば、夫婦で最近の子どもの様子や家庭の教育方針について話し合ったりするだけでも子育てにつながります。また、子どもといっしょに出かけて、母親に自由な



時間をつくってあげることも、夫婦で協力して子育てをすることになると思います。

その2

おじいちゃん・おばあちゃんから、お母さん・お父さん、そして孫たちへ

子育てを分かち合うとき、頼りになるのは祖父母の力。とはいえ、世代が違えば子どもへの考え方も違う……。本当に困ったときだけ、頼りたいのが本音かもしれません。

では、当のおばあちゃんやおじいちゃんは

どう思っているのでしょうか。ある「子育てアンケート」から、生の声を集めてみました。

孫の成長は日々違います。笑顔に励まされパワーをもらっています。



若い夫婦の子育てと仕事の両立を応援させてもらっています。すばらしいことと思っています。



孫の保育所への送り迎えをしたり、おいしいものをたくさん食べさせてやりたい。いつでも声をかけてもらいたいと思っています。



多くのアンケートからは、孫だけでなく、保護者のみなさんへの、「親」そして「子育ての先輩」としての愛情を感じることができました。

幼稚園や保育所の中には「祖父母の会」があるとところもあります。応援団のみなさんは、出番を待っていることでしょう。

いいこといっぱい、保護者会活動

同時期に、同じくらいの年齢の子どもを育てている仲間との交流には
きつと大きな収穫があります。やりとりできる子育て仲間を積極的に作ってみませんか。



仕事と家庭以外の新たな「場」を持つ

子どもが幼稚園や保育所に通い始めると同時に始まる「保護者会」の活動。ただでさえ日々の子育てと仕事に追われる中で、なんか面倒だな、できるだけ最小限で……と思っていませんか。でも、子ども達のために頑張ってくれるお父さんお母さんの姿は、子どもにとってもまぶしく映るもの。そして何より、仕事と家庭以外の新たな「場」があることは、3歳児と向き合う私たち大人の毎日に、思った以上に楽しみとエネルギーを与えてくれるはずです。

その1

先輩お父さんより…親としての「ヒント」が見つかります!

子どもたちが幼稚園や保育所に通い始めると、保護者のみなさまは保護者会やPTAといった組織の活動への参加を促されます。その活動内容は、行事のお手伝いや奉仕活動などさまざま。活動を通して新しい仲間が増えます。また活動する姿を子どもたちに見せることも、親としてとても大切なことだと考えて

います。

忙しいとは思いますが、まずは活動に参加してみてください。子どもたちの成長を後押しするだけではなく、私たち自身も親としての学びの場となります。保護者同士の会話の中から、子育てのヒントなども見つかるかもしれませんよ。

その2

幼稚園の先生より…学年を超えた知り合いができることも魅力です!

他の保護者といい関係をつくり、子育ての情報交換をすることで、自分一人で悩んでいる問題への解決の見通しがもてたり、自分の子育てを見直したりする姿を、これまでにたくさん見てきました。

入園後「園の生活にうまく溶け込めているだろうか」「お友達と仲良くできているだろうか」という、親としての不安な気持ちを共有

したり、また、PTA活動を通して顔なじみになったりすることで、少しずつ親しい関係が構築されていきます。

特に、自分の子どもより上の学年の保護者と話ができるような関係を築いておくと、先輩保護者からの適切なアドバイスが聞けるようになり、子育てについて気持ちのゆとりがもてるようになります。

その3

保育所の先生より…子育て仲間は「友達」としてずっと続きます!

子どもが保育所に通う期間は、子どもたちだけでなく保護者にとっても、社会の中で成長する貴重な時期。子育てにはきめ細やかな保護者像を求められ、職場では責任ある働きを求められ、だれもが悩み苦しむ時期です。

保育所は、働くために安心して子どもを預けられる場であるだけでなく、保護者会活動や行事を通して、同じような悩みを語り合える仲間に出会い、子育ての楽しさを膨ら

ませる場でもあります。保護者は職種も年齢も意見もさまざま。だからこそ子どもたちを見つめる目が複眼になり、気付かなかった我が子の良さを教えてもらえるのです。卒園してからも、小学校の入学・卒業などの節目に、ある種の同窓会のように保護者が当時の思い出を語り合ったりしていますが、子どもたちの成長の姿と重なり、保育所で働く私にとっても元気の源になっています。

家族で撮った思い出の写真シールをはってね!

年月日

● 本書を執筆していただいたみなさまの紹介 ●

3歳児保護者啓発冊子作成委員会

委員長

松本 博雄 香川大学 教育学部 准教授

委員

藤元 恭子 香川大学 教育学部 准教授

塚本 剛 香川県国公立幼稚園PTA連絡協議会 会長

山崎 真理子 香川県国公立幼稚園長会 会長
(高松市立国分寺北部幼稚園長)

増田 順子 香川県保育協議会保育士会 会長
(こぶし福祉会 こぶし今里保育園長)

● 子育てハンドブック ●

3歳児のいいところミツケ!

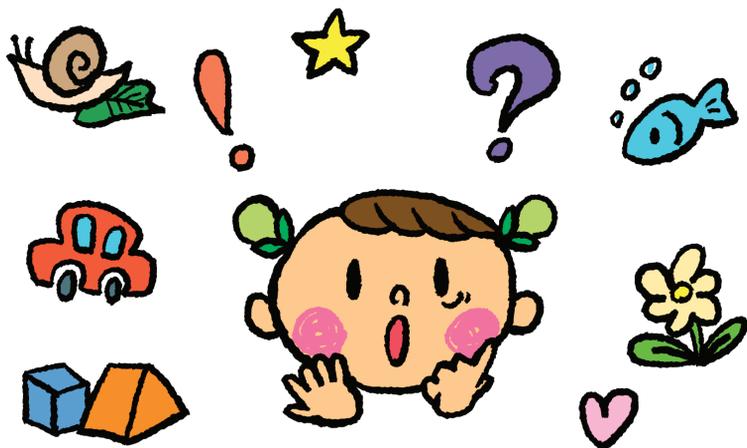
— 子どもとの生活を味わうヒント —

発行：平成25年3月

香川県教育委員会事務局
生涯学習・文化財課

〒768-8582 香川県 高松市 天神前 6番1号

TEL.087-832-3774 FAX.087-831-1912



家庭教育や子育てに役立つ**情報ホームページ**



かがわの家庭教育

(香川県教育委員会 生涯学習・文化財課)

検索



みんな子育て応援団

(香川県健康福祉部 子ども政策推進局)

検索



家庭教育や子育ての悩みや不安の**相談**は



【香川県教育センター】

- 子ども電話相談 TEL/087-813-3119 相談時間 9:00~21:00(通年)
- 子育て電話相談 TEL/087-813-2040 相談時間 9:00~21:00(通年)
- 24時間いじめ電話相談 TEL/087-813-1620 相談時間 24時間(通年)
- 子どものネットトラブル相談 TEL/087-813-3850
相談時間 月~金曜日(祝日・年末年始を除く) 9:00~17:00
- 来所相談 TEL/087-813-0945
相談時間 月~金曜日(祝日・年末年始を除く) 9:00~17:00
第2・4土曜日(祝日・年末年始を除く) 13:00~17:00

【香川県子ども女性相談センター】

- 子どもと家庭の電話相談 TEL/087-862-4152
相談時間 月~土曜日(祝日・年末年始を除く) 9:00~21:00